

意見書

12月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書4件が提出され、審査の結果、3件が原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

認知症施策の推進を求める意見書

1 国や自治体をはじめ企業や地域が力を合わせ、認知症の人やその家族を支える社会を構築するため、認知症施策を総合的かつ計画的に推進する基本法を制定すること。

2 認知症診断直後は、相談できる人がいないといった人が多く存在しており、診断直後の空白期間が生じている。この空白期間については、本人が必要とする支援や情報につながるができるよう、認知症サポーターの活用やガイドブックを作成することによる支援体制の構築を図ること。

3 若年性認知症の支援については、若年性認知症支援コーデイネーターの効果的・効率的な活動を推進するため、コーデイ

ネーターに対する研修など支援体制を整備するとともに、本人の状態に応じた就労継続や社会参加ができる環境の整備を進めること。

4 認知症の全国規模の疫学調査と疾患登録に基づき、有効な予防法や行動・心理症状に対する適切な対応など認知症施策の推進に取り組むこと。また、次世代認知症治療薬の開発・早期実用化や最先端の技術を活用した早期診断法の研究開発を進めるとともに、認知症の人の心身の特性に応じたりハビリや介護方法に関する研究を進めること。

義援金差押禁止法の恒久化を求める意見書

「義援金差押禁止法」については、近年、自然災害が頻発化する中、災害が起こるたびに立法措置するのではなく、国会が閉会している間にも対応が可能となるよう、恒久法としての立法化を早期に進めること。

被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書

支援の対象を住宅の全壊・大規模半壊だけでなく、半壊や一部損壊まで広げること。

インターネットで議会録画中継を見る！

市議会では、本会議の様子をインターネットで録画中継にて配信しています。

パソコンのほか、スマートフォンやタブレットを使って自宅などで、いつでも好きなときに見ることができます。

※録画中継は、各日の会議終了の概ね7日後から公開しています。



3月定例会の予定

日 程	議 事
2月25日(月)	開会、議案説明
28日(木) 3月1日(金)	議案に対する質疑
4日(月)	総務委員会
5日(火)	まちづくり委員会
6日(水)	文教福祉委員会
8日(金) 11日(月) 12日(火)	一般質問
19日(火)	委員長報告、採決、閉会

※各日、午前10時開会予定です。

※議場は、本庁舎の4階です。

※日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合があります。

編集後記

平成の時代も今年で幕を閉じますが、およそ30年の激動の時代は様々な変化があったことと想われます。特に情報化社会の波はインターネットの普及に始まり、ユビキタス社会の到来は平成の時代が始まった当初は、考えも及ばなかった進化だと思えます。日々目まぐるしく変わる社会情勢に対応するべく、我々議員も情報化社会の波に乗れるように日々精進してまいります。

まだまだ寒い日々が続きますが、皆様もお身体にはご自愛いただきますようお願い申し上げます。

平成31年1月 江田 徹 記

編集委員

- 委員長 赤岩 秀文
- 副委員長 金崎 昌之
- 委員 江田 徹
- 委員 上林 富夫
- 委員 桜井 重均
- 委員 新井 重一郎
- 委員 本橋 貢